第１号書式（第４条関係）

（表面）

二 級 建 築 士
木 造 建 築 士　免 許 申 請 書

二級建築士
私は、木造建築士の免許を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

私は、この申請書の記載事項が真実で、かつ、正確であることを誓います。

年　　月　　日

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

栃木県知事
栃木県指定登録機関　　様
一般社団法人栃木県建築士会

ふ り が な 氏　　名		生年月日	年　　月　　日生		写　　真 （縦4.5cm ×横3.5cm）
本　　籍 （都道府県名）			性　別		
現　住　所					
合格通知日付	年　　月　　日	受験番号	号		
申請の区分	１ 学歴□　２ 学歴及び実務□　３ 実務□　４ 建築設備士□ ５ 建築士法第４条第５項□				
「１　学歴」により申請する場合のみ記入	学　校　名	学部及び学科の名称	入学及び卒業（修了）の年月		
			年　　月入学 年　　月卒業（修了）		
			年　　月入学 年　　月卒業（修了）		
「２　学歴及び実務」により申請する場合のみ記入	学　校　名	学部及び学科の名称	入学及び卒業（修了）の年月	建築実務の経験期間の合計	
			年　月入学 年　月卒業(修了)	年　　月	
			年　月入学 年　月卒業(修了)		
「３　実務」により申請する場合のみ記入	建築実務の経験期間の合計				
	年　　月				
「４　建築設備士」により申請する場合のみ記入	合格証書番号又は登録番号		合格証書日付又は登録年月日		
	第　　号		年　　月　　日		
「５　建築士法第４条第５項」により申請する場合のみ記入	免許の名称	免許者名	免許の年月日		
			年　　月　　日		

（裏面）

欠格事由	1　禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。	ある□　ない□
	あるときはその罪及び刑	----------
	あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	年　月　日
	2　建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。	ある□　ない□
	あるときはその罪及び刑	----------
	あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日	年　月　日
	3　建築士法第９条第１項第４号又は第10条第１項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。	ある□　ない□
	あるときは、その日	年　月　日
	4　建築士法第10条第１項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に同法第９条第１項第１号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。	ある□　ない□
	業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	年　月　日から 年　月　日まで
	5　精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。	はい□　いいえ□

※　登録番号		※　登録年月日	年　月　日

備考　数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けて下さい。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

告示等に基づく学歴等区分（登録申請時）	□５０ 大学・短大・高専卒 40単位	□５１ 職能大（短大）卒 40単位	□５２ 大学・短大・高専・職能大等卒 30単位	□５３ 大学・短大・高専・職能大等卒 20単位
	□５４ 高校・中学卒 20単位	□５５ 高校・中学卒 15単位	□５６ 専修（高校卒） 2年以上　40単位	□５７ 専修（高校卒） 2年以上　30単位
	□５８ 専修（高校卒） 1年以上　20単位	□５９ 専修・職訓校（中学卒） 2年以上　15単位	□６０ 専修・職訓校（中学卒） 1年以上　10単位	□６１ 職訓校（高校卒） 3年以上30単位
	□６２ 職訓校（高校卒） 1年以上20単位	□６３ 職訓校（中学卒） 3年以上20単位	□６４ 実務経験	□６５ その他 （建築設備士等）